

令和5年度 美術科 <第2学年> 年間指導計画と評価規準

美術科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の動きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

美術科 第2学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の動きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

第2学年年間指導計画（評価規準）

★ 知は、知識・技能

思は、思考・判断・表現

主は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導内容	評価規準	評価方法
4	屏風、美のしかけ ～風神雷神図屏風と 燕子花図屏風～ <2時間>	《表現・鑑賞》 1 俵屋宗達 「風神雷神図」 2 尾形光琳 「燕子花図屏風」	知 屏風の歴史や役割について理解することができる。 思 屏風の表現のよさや美しさ、余白や折りなどの作者の意図と工夫、日本の美術文化について考えたことを言葉で表現することができる。 主 屏風の表現のよさや見え方の変化などに関心をもち、意欲的に鑑賞に取り組むことができる。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、日本文化の造形的な視点について考えたことを言葉で表現している。	定期テスト 授業観察 鑑賞ワークシート
5	浮世絵はすごい ～版を介した形・構 図や技法に着目する ～	《版画・表現・鑑賞》 1 版画の種類と特徴 (2時間) 2 「浮世絵」の鑑賞 (1時間)	知 版画とは何か、種類、どのようにして作るのかなど、それぞれの版画の特性を理解し、表現したいイメージの意図に応じた表現の創意工夫がある。 思 浮世絵のよさや美しさを感じ取り、制作者たちの工夫や文化について考えることができる。また、現代の「浮世絵」を考えることができる。	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート
6	<10時間>	3 遠近法と構図 (1時間) 4 彫り進み木版画 制作 (6時間)	思 作家たちの作品から着想を得て、どんな作品にしていくのか見通しを立てられる。	
7			主 美術の創作活動に主体的に取り組む、浮世絵の表現の特徴や美しさを感じとろうとしている。アイデアスケッチから、作品に昇華することができる。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。	

8	<p>夏の課題</p> <p>暮らしに息づくパブリックアート</p>	<p>町に繰り出して、暮らしに溶け込むアートを見つける。(写真を撮るまたはデッサンをする)</p>	<p>知 パブリックアートとは何かを考え、町の中でどのような役割をしているのか具体的に考えることができる。</p> <p>思 町の中でどのような役割をしているのか具体的に考えることができる。 作者の制作した意図や狙いは何なのか、考え言葉としてまとめることができる。</p> <p>主 町の中を積極的に探索し、どのようなところにパブリックアートがあるのか見つけることができる。 自分だったら、どのようなアートをどこにおいて、どんなメッセージを届けたいか具体案を表現することができる。</p>	<p>定期テスト作品</p>
9	<p>浮世絵はすごい ～版を介した形・構図や技法に着目する～ <2時間></p>	<p>《版画・表現》 1 木版画制作 刷り 2 鑑賞会</p>	<p>知 版画とは何か、種類、どのようにして作るのかなど、それぞれの版画の特性を理解し、表現したいイメージの意図に応じた表現の創意工夫がある。</p> <p>思 浮世絵のよさや美しさを感じ取り、制作者たちの工夫や文化について考えることができる。また、現代の「浮世絵」を考えることができる。 作家たちの作品から着想を得て、どんな作品にしていのか見通しを立てられる。</p> <p>主 美術の創作活動に主体的に取り組み、浮世絵の表現の特徴や美しさを感じとろうとしている。 アイデアスケッチから、作品に昇華することができる。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。</p>	<p>定期テスト作品 授業観察 振り返りシート</p>
10	<p>身近な自然から色を作る ～手から手へ受け継ぐ・伝統工芸の技と心を知る～ <5時間></p>	<p>《工芸・表現・鑑賞》 1 染色によって作り出された作品鑑賞 2 染の歴史 3 野菜の皮でハンカチを染める 4 作品鑑賞会</p>	<p>知 どのようにして、染め物はできているのか理解し、実際に手順を踏みながら、染の体験を通して、理解を深める。素材や用具を生かして、丁寧に制作することができる。</p> <p>思 伝統的な技法やデザインの意図にあった材料や用具を工夫し、手順などを考えながら制作することができる。 目的や条件、色彩や模様との調和を考えて構想を練る。</p> <p>主 染色によって作り出された作品を鑑賞し、色の模様の美しさ、自然とのつながりから生まれた造形の美について自分の考えを言ったり、聞き入れたりすることができる。自分の身の回りにある野菜の皮で色を作り出すことができるという楽しさや、自然との繋がりを感ずることができる。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。</p>	<p>定期テスト 授業観察 鑑賞ワークシート</p>
11	<p>ジェスモナイト ～花を贈る～ <10時間></p>	<p>《工芸・表現・鑑賞》 1 贈る相手や選んだ花の形や色のイメージなどから主題を生み出す。 2 参考作品を見て、作品の構想をねる。 3 制作 4 展示をして、鑑賞会</p>	<p>知 作り方やジェスモナイトの特性を理解し、表現したいイメージの意図に応じた創意工夫がある。材料や用具を生かし、耐久性や仕上がりの美しさ、手順などを総合的に考えて制作することができる。</p> <p>思 花を贈りたい相手をイメージし、花の選択やその花に似合う花瓶の形や機能性と美しさなどの視点から、形や色彩、材料などの効果を考え、構想を練ることができる。 花との調和を考えた花瓶の美しさなどを感じ取り、作者の意図や工夫について考え見方・感じ方を深めている。</p> <p>主 アイデアスケッチから、作品に昇華することができる。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。 作品を飾って鑑賞し、作者の意図や表現の工夫を、感じ取り、調和を考えたデザインの働きについて、感じ取ったことや思ったことをワークシートにまとめることができる。</p>	<p>定期テスト作品 授業観察 振り返りシート</p>
12			<p>主 アイデアスケッチから、作品に昇華することができる。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。 作品を飾って鑑賞し、作者の意図や表現の工夫を、感じ取り、調和を考えたデザインの働きについて、感じ取ったことや思ったことをワークシートにまとめることができる。</p>	

	文化の出会いがもたらしたもの ～日本美術が西洋美術に与えた影響～ <2時間>	《鑑賞》 1 印象派以前の作品と印象派作品の比較鑑賞 2 表現の変革期とジャポニスム	知 作品の比較鑑賞を通して、西洋美術のこれまでの傾向と、なぜ印象派が生まれたのかを考えることができる。また、日本ブームが生まれた時代背景や、日本とヨーロッパの作品の比較鑑賞を通じた国際理解、美術文化の継承と創造を考えることができる。	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート
		思 比較鑑賞を通して、それぞれの時代の作品の特徴を観ることができる。構図や色彩、線などに着目して、日本美術の作風や印象がどのように生かされているのかとらえることができる。		
		主 西洋美術の変遷に関心を持ち、意欲的に鑑賞に取り組むことができる。ジャポニスムの表現の特色や美しさ、時代背景などに関心を持ち、意欲的に鑑賞に取り組むことができる。		
1	雪舟に学ぶ水墨画の世界～墨の濃淡で作る世界～ <5時間>	《鑑賞・表現》 1 墨画 2 雪舟 「秋冬山水図」の鑑賞 3 技法	知 水墨画の技法を理解し、実際に筆と墨をある程度、使いこなすことができる。雪舟の作品の模写を通して、墨の濃淡を効果的に使うことができる。	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート 鑑賞ワークシート
2		思 作品に描かれてある事物や、構図、墨の濃淡などから何が描かれているのか考えることができる。 水墨画のにじみや微妙な明暗の変化を感じ取り、表現に生かすことができる。		
3		主 描かれてある事物などが何なのか考え、友人と意見を交換し合うことができる。水墨画独特の表現の面白みに気づき試行錯誤している。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。		